



奉祝 天皇陛下御即位三十年

氷川神社
社報 第七号

武蔵一宮



奉祝 天皇陛下御即位三十年(三)

三種の神器

八岐大蛇

天皇皇后陛下が御結婚されたのは昭和三十四年(一九五九年)四月十日でした。明年、平成三十一年は陛下の御即位三十年の年であると同時に、御結婚六十年の記念すべき年でございます。御結婚当時は神武景気により戦後復興を果たし、国民の生活も安定し、豊かさの象徴となった白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫は三種の神器と呼ばれました。その後もカラーテレビ、クーラー、自動車が新三種の神器と呼ばれ、平成になってからはデジタルカメラ、DVDレコーダー、薄型テレビがデジタル三種の神器と呼ばれるようになりました。そもそもこの三種の神器とは、天照大御神が孫である邇邇藝命ニニギハヤヒに、天界から降臨する際に授けた八咫鏡ヤタノカガミ、八尺瓊勾玉ヤスヒノマガタマ、草薙剣クサナギのたちをいい、皇位継承の証として新たな天皇に継承されてきました。中でも草薙剣は須佐之男命が英雄神として成長する神話の段に描かれています。

須佐之男命が出雲の国の簸ひの川の川の辺りにくると、川上から簀すいが流れてくるので、のぼっていくと家の中で娘が一人、年老いた両親と泣いていました。娘の名は稲田姫命。親の名は大天孫命の子で、足摩乳命アシマノチノミコト、手摩乳命テマノチノミコトといいました。そこで須佐之男が理由を聞くと、足摩乳は世にも恐ろしい話を始めました。この山奥に八岐大蛇という頭が八つもある怪物が住み、一年に一度この里にできては、娘を一人ずつ食べるというのです。そのため、八人もいた足摩乳の娘も、今では稲田姫だけになり今年もまた大蛇が娘を食べにくる時期だということです。話を聞いた須佐之男は、大蛇を退治する事にしました。そこでまず強い酒を置きそれを飲んで寝てしまった大蛇にそっと忍びよると、須佐之男は手にした剣で大蛇めがけて切りかかりました。気づいた大蛇は須佐之男めがけて飛びかかってきましたが、酔っぱらった大蛇をひらりとかわし、次々と切り倒して見事退治しました。最後に尾を切ったとき、立派な剣がでてきました。名を草那藝之大刀クサナギのたち(別名草薙剣、天叢雲剣アマノモリノツルギ)といひます。大蛇も退治され、出雲の国にまた平和が戻りました。大蛇の尾から出てきた剣は天照大御神に奉られました。須佐之男は稲田姫と暮らす宮を建て、和歌をお詠みになられたのです。「八雲たつ 出雲八重垣 つまごみに 八重垣つくる その八重垣を」この歌は八雲神詠歌やくもしんえいかといわれ、和歌の初めとされています。

武蔵園一宮

氷川神社 建速須佐之男命



例祭

本年は畏き送りより御勅使に掌典の堤公長様の御参向を頂き楽師により東游あずまのうたの奉奏を頂きました。神社本庁統理の御名代に一條神社川村公彦宮司(高知県)、大野総代会長はじめ下町の小山正博祭典年番長及び氏子総代、また埼玉県神社庁の中山高嶺庁長、県内神職、崇敬者約三百名御参列の中、午前十時より厳粛に行われ皇室の弥栄と氏子崇敬者の幸福が祈念されました。

勅祭社

勅祭社とは天皇陛下の使いである勅使が例祭に差遣され、幣帛が奉奠される神社のことで、現在は、伊勢の神宮は別格として全国に十八社ございます。



神み酒きしよ所しよ並なびびに山だし車しよ神み輿こし

各町内の山車神輿は参向される勅使のお出迎えの為、三の鳥居から神橋の間に約四十基が並びます。その役目を終えるとそれぞれの町内に帰り曳行されます。



御輿渡御写真提供：公益社団法人さいたま観光国際協会

神幸祭

八月二日神幸祭が斎行されました。古くは旧暦六月十五日に行われておりましたが明治の御代の例祭日変更に伴い現行の八月二日となりました。本殿にて御神霊を神輿にお遷しし、渡御、神池の水で清めた神橋に神輿を安置し橋上祭を執り行いました。その後、神池の東を周り本殿へと還御、午後六時半に終了致しました。



橋上祭

橋上祭は特殊神饌として小麦ごはんや直酒、鱧の干物等を始め十七台の神饌をお供えし、齋場で直会まで行う珍しい祭典です。神輿などの担ぎ手となる輿丁に旧神領地の六町内(堀の内、土手、大成、上落合、新開、東大成)と氏子青年会あわせ約百名の方に御奉仕頂き斎行されました。祭員の他、威儀物を捧持する者、雅楽を奏する伶人等、輿丁を含め約百六十名の御列となりました。



中山道まつり

中山道まつりは当社例祭に合わせ大宮駅東口前を会場に毎年行われております。一日は十七時から二十一時、二日は十七時から二十二時までで、御輿の揃い渡御・山車の揃い巡行、民踊、阿波おどり、太鼓演奏など、会場のあちこちで様々な催しが行われました。

社頭往来

さいたま市職場体験

七月九日から十一日までさいたま市中学生職場体験事業「未来越るワーク体験」でさいたま市立大成中学校の生徒四名を、同じく七月十日から十二日までさいたま市立大宮北中学校の生徒三名を受け入れました。境内清掃やお札の授与の他、最終日には舞殿にて豊栄の舞を奉奏頂きました。



武蔵野銀行小麦奉納

七月十三日午前十一時、株式会社武蔵野銀行様より小麦の御奉納を頂きました。御篤志に感謝申し上げます。



献詠祭

七月十五日午前十時、献詠祭を執り行い「綿津見」を兼題に八雲会会員の和歌が奏上されました。

例祭前清掃奉仕

七月二十六日午前九時より例

祭前に神域内の清掃が持ち回りの当番町である三橋、上小町の

氏子、奉仕団体の敬神婦人会、氏子青年会、神社関係団体の八雲睦会、解脱会の皆様により行われました。



例祭前日祭



七月三十一日午前十時、例祭前日祭を執り行いました。

献詠祭

八月十五日午前九時半、献詠祭を執り行い「雷神」を兼題として八雲会会員の和歌が奏上されました。

埼玉縣護國神社みたま祭

八月十五日午前十一時半、当社宮司が兼務の埼玉縣護國神社にてみたま祭を執り行いました。遺族会会員や県内神職など約四百名御参列の中、厳粛に斎行致しました。



助勤説明会

平成三十一年正月に御奉仕頂く助勤奉仕の希望者に向け説明会を実施致しました。一日から七日までで男子約四十名、女子約百三十名募集の予定です。八月二十五日に第一回説明会、九月二十四日に第二回説明会がありました。



神鏡研磨奉納奉告祭

八月二十六日午前十時、株式会社マスセイ様参列のもと、神鏡研磨修復奉納奉告祭を執り行いました。こちらの神鏡は、かつて拝殿に奉安していた物で、

現在は御祈禱殿に奉安しております。



婚礼展示会

八月二十六日午後一時より四時まで氷川神社呉竹荘において婚礼展示会が開催されました。婚礼衣装や引出物の展示の他、写真や動画撮影の相談などを承り、三十一組の方々のお来場を頂きました。尚、婚礼に関するお問い合わせや御案内は社務所一階の婚儀部受付にて承っておりますのでお気軽に御来社下さい。

敬神婦人会研修旅行



吟道奉賛会

九月六日、七日第六十九回全国敬神婦人大会神奈川大会にあたり敬神婦人会の会員十九名参加のもと、研修旅行が行われました。川崎市鎮座の溝口神社に正式参拝致しました。

九月八日午前九時半、日本吟道奉賛会により第四十三回吟詠剣詩舞奉納大会が行われました。午前は舞殿にて、午後は呉竹荘に移動し、合わせて百十題の詩吟の奉納を頂きました。



屏風奉納

九月十三日午前十一時半、川田秀夫様より書家の金田石城氏作の屏風を奉納頂き、奉告祭を行いました。御篤志に感謝申し上げます。



献詠祭併せ敬老祭

九月十五日午前十時、献詠祭に併せ敬老祭を執り行いました。「台風」を兼題として八雲会会員の和歌が奏上されました。



表千家献茶式

九月二十三日午前十一時、表千家同門会埼玉支部による献茶式が執り行われ、而妙斎千宗旦宗匠の御奉仕にて神前に奉納されました。献茶を奉安する案は同門会七五三守芳様より奉納を頂きました。



秋分祭

九月二十三日午前十時、敬神崇祖の誠心を御奉告する秋分祭を執り行いました。宮中では秋季皇霊祭が行われるにあたり、祭典前に宮中の皇霊殿を遙拝致しました。



埼玉県茶道協会秋の茶会

九月三十日、埼玉県茶道協会による秋の茶会が勅使館及び呉竹荘にて開催され、来賓の上田知事他約四百名の参加者で賑い、茶の湯を楽しみました。



明治天皇御親祭百五十年大祭
奉祝記念碑建立記念事業

七月二十五日、明治天皇御親祭百五十年大祭を奉祝する記念碑建立にあたり地鎮祭を執り行いました。また、記念事業の楼門内廻廊の石畳工事が始まりました。第一期工事が東側廻廊から始まり十月末に終了予定、第二期工事は平成三十一年二月から七月にかけて西側廻廊を実施予定、第三期工事が例祭終了後から九月末にかけて残り部分を実施予定です。



氷川神社摂末社の巡拝(その一)

境内にはさまざまな神様が祀られています。十三社ある境内社は摂末社とよばれますが、摂社とは旧官国幣社において境内外に祀られている神社の中で特に本社の祭神と由緒の深い神社を指します。その他の境内外に祀られている神社は末社といえます。当社のみくじの文末には信仰すべき摂末社や御祭神の記載があります。御加護を頂けるようお参りください。

祭典後の巡拝



氷川神社では年間に七十ほどの祭典があり、そのうち、四十ほどの祭典では本殿祭の後、摂末社を巡拝します。巡拝の順は拝殿から東門を出て、①門客人神社、②御嶽神社、③六社(住吉神社・神明神社・山祇神社・愛宕神社・雷神社・石上神社)、④天津神社、⑤稲荷神社、⑥宗像神社、⑦宗像神社前の西側から東を向き鹿島神宮及び香取神宮を遙拝、⑧東側から西を向き伊勢の神宮を遙拝、⑨松尾神社、⑩松尾神社前から南を向き天満神社を遙拝し社務所へと還ります。



門客人神社

稲田姫命の両親である須賀宮の守護神

御祭神の足摩乳命と手摩乳命は御本殿で祀られる稲田姫命の御両親にあたります。須佐之男命が大蛇を退治した後に、稲田姫命をめぐり須賀宮を造られた際に稲田宮主須賀之八耳神という名を授け、守護を任せられます。このため足摩乳命、手摩乳命は家屋の守護神、門戸の守護神として深く信仰されてきました。文禄

御祭神

あしなつちのみこと
足摩乳命
てなつちのみこと
手摩乳命

おみくじの表記

門客人神社



神楽で舞われる
足摩乳命と稲田姫命

五年八月に再建された社殿はかつて参道の十六丁目付近に鎮座し、現在の社殿は寛文七年三月に造営遷座されたもので、市の指定文化財となっております。

天津神社
 天津の神
 淡島の神
 えびすの神

おみくしの表記
 少彦名命

御祭神



二福神札 600円

市の指定文化財となっており、大己貴命と少彦名命のお姿が描かれた二福神札は十二月十日の大湯祭のみ授与を行っており、授与所ができる宗像神社前が参詣者で賑わいます。

御祭神の少彦名命は大己貴命とともに国作りをした神で医学薬学の神として信仰され、当社では恵比須様とも伝えられております。古代の事は詳らかではありませんが、寛文七年社殿を造営、明治十年に摂社と定められました。元は参道十四丁目に鎮座していましたが明治二十二年十二月にかつての簸王子社の本殿を移築遷座し、現在は

大己貴命と共に
 国造りを行った恵比須様

天津神社

おみくしの表記
 宗像社
 宗像の神

御祭神



二福神木像 2,500円



福財布 600円

神札や福財布、種銭の授与所ができ、商売繁昌や開運招福を願う大勢の参拝者で賑わいます。

御祭神の女神三神は、須佐之男命が天照大御神に悪心のない事を試した誓約の時に須佐之男命の剣から生まれた神で航海守護の神として尊崇されており、弁天島として古くから信仰された宗像神社は明治三十年十月に摂社と定められました。十二月十日の大湯祭では宗像神社の前に二福

須佐之男命の御子神にして
 弁天様としても信仰される

宗像神社

神主さんを学ぼう！

八月十日、境内にて神職子弟の園児・小・中・高・大学生を対象とした埼玉県神社庁主催の教化事業「神主さんを学ぼう！」が行われました。着装や作法体験などの他、当社神職による境内案内を行いました。

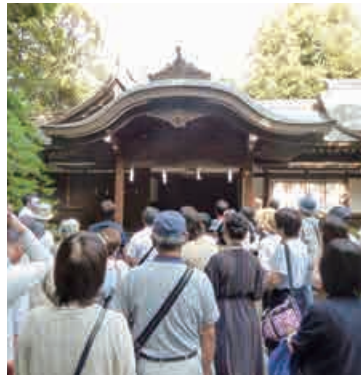


体験体装

クラブツーリズム一日学校

八月十八日、十九日、九月一日、二日クラブツーリズム主催、埼玉県神社庁協力による一日学校シリーズ「楽しく学び 正しく知ろう！第四回もつと神社仏閣を知ろう」が行われました。

拝殿にて正式参拝の後、神社庁武田事務局長の神道入門講座や祓詞浄書体験、作法体験、また当社神職による境内案内を実施致しました。



神社史料研究会サマーセミナー

八月二十七日、二十八日の二日間、神社史料研究会のサマーセミナーが開催されました。正式参拝の後、社務所にて会員による研究報告を行い、当社蔵の



「祭政一致の詔」、「明治天皇行幸 絵巻」等、明治天皇御親祭や行幸に関する古文書を展示致しました。

『緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦』収録

水川神社の神域から清泉が湧き、見沼へと注ぐ神池は、古より尊池とも呼ばれ蓴菜が清らかな水面を覆い、夏には蛸が乱舞しておりました。特に蛸に関しては江戸期には將軍家に、また明治二十六年から昭和十二年までは皇室に、日本一の源氏蛸として献上されておりました。終戦後に急激な宅地開発等で環境が一変し、蛸も蓴菜も姿を消してしまいました。もう一度環境を整え、境内に蛸を自生させる為、三年前に熱意ある氏子崇敬者有志により「氷川蛸の会」が結成されました。池の清掃や蛸の鑑賞会等を催し活動する中で、この度テレビ東京『緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦』の制作スタッフの目に留まり、全国五百四十件の依頼の中から選ばれ、今春より調整を行い、九月十三日収録を致しました。

前七時三十分より拝殿にて修祓、玉串拝礼の後、午前中に生物の捕獲、午後には泥の浚渫や清掃作業を行いました。参加者は胴長姿で約八十cmの泥に足を取られ苦戦されておりました。今後は神社、蛸の会、有識者と協議の上、蛸や蓴菜の自生できる自然環境を目指し、全ての泥を浚渫する予定です。

(出演者) 田村淳、AKB48 大家志津香、笛木優子、佐藤寛太 (参加者) さいたま市長、新藤信夫実行委員長、大宮区長、さいたま観光国際協会、さいたま商工会議所、青年会議所、武蔵野銀行、毎日興業、クラーク記念国際高等学校 等



(放映日) 十月十四日 (捕獲生物リスト) 鯉、ゲンゴロウフナ、モツゴ、ヨシノボリ、ヘラフナ、雷魚、ソウギョ、アメリカザリガニ、スジエビ、ヤゴ、ミシシッピアカミミガメ、クサガメ、ミシシッピチズガメ、その他

七月一日 七月十五日



敬神婦人会湯茶接遇



七月の奉納献華

古流松藤会	岩波理豊
草月流	沖山草俊
古流松藤会	川嶋理智
池坊	草谷智花
桂古流	小林華侑
桂古流	高橋典花

参道の清掃活動を頂きました皆様の御芳名を御紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。参道清掃のお申し出、お問い合わせは社務所までお願い致します。(五十音順、敬称略)

阿含宗埼玉道場
さいたま市ジョブアシスト事業
みずほ証券株式会社
武蔵コーポレーション株式会社

参道清掃奉仕御礼



八月の奉納献華

古流松藤会	岩波理豊	
池坊	草谷智花	
草月流	沖山草俊	
		桂古流
		古流松藤会
		桂古流
		草月流
		正風流一光会
		小林華侑
		川嶋理智
		高橋典花
		竹下尚峰
		桐生一光



幟旗 一本 一万円
鳥居 一基 二十万円

御奉賛のお申し込みは神札所
または社務所にお問い合わせ致します。

稲荷神社鳥居及び幟旗奉納について



九月の奉納献華

古流松藤会	岩波理豊
草月流	沖山草俊
古流松藤会	川嶋理智
桂古流	小林華侑
草月流	竹下尚峰
正風流一光会	桐生一光
桂古流	高橋典花

<p>九月</p> <p>一日 クラブツーリズム一日学校</p> <p>二日 クラブツーリズム一日学校</p> <p>三日 八重垣会</p> <p>八日 吟道奉賛会</p> <p>十三日 川田秀夫</p> <p>十四日 埼玉県遺族連合会女性部</p> <p>十八日 武蔵菊花会菊作り研修会</p> <p>二十日 水川懇談会部会</p> <p>三十日 埼玉県茶道協会</p> <p>三十日 諏訪神社 弥栄会(新潟県)</p>	<p>八月</p> <p>十日 神職子弟神明奉仕を学ぼう</p> <p>十一日 武蔵菊花会菊作り研修会</p> <p>十八日 クラブツーリズム一日学校</p> <p>十九日 クラブツーリズム一日学校</p> <p>二十八日 神社史料研究会</p> <p>二十七日 神社史料研究会</p> <p>三十日 埼玉県別表社宮司会</p> <p>三十一日 一の宮めぐり</p>	<p>七月</p> <p>七日 多田神社(東京都)</p> <p>八日 武蔵菊花会菊作り研修会</p> <p>八日 例祭祭典年番会議</p> <p>十日 梓川地区神社敬神婦人会 (長野県)</p> <p>十三日 武蔵野銀行</p> <p>二十八日 例祭前清掃奉仕</p>	<p>正式参拝及び諸会議</p> <p>(敬称略)</p>
---	---	---	-------------------------------

結 婚 式

当社の御祭神須佐之男命は出雲国須賀の宮に稲田姫命をお娶りになり、

八雲たつ 出雲八重垣 つまごみに

八重垣つくる その八重垣を

とお詠みになり御円満の御家庭を築かれ御神子大己貴命(大国主命)を始め貴き御子孫神をお生みあそばされ夫婦の道を御顕示になりました。当社ではその御神業を崇び神前結婚式を通して御神徳の顕揚に努めて居ります。



本殿挙式
三・四・五月の
土日午後のみ

挙式初穂料

十万円(本殿挙式は十五万円)

※奏楽入り、別途写真代、衣装代

御相談、お申し込みは

048(641)0137 (9:00~16:00)

結婚式御用部

第八号は平成三十一年一月十五日発行予定です

大宮 とおみまち
武蔵一宮氷川神社 大湯祭
十二月十日
9日、10日は交通規制がございます

観月雅楽演奏会 10月21日 17時半
神楽 豊栄の舞
管弦 平調 音取、越天楽、陪臚
舞楽 迦陵頻、落蹲、五常楽
曲目は予定です。
入場無料、未就学児は御遠慮願います

武蔵菊花会菊花展 11月1日~15日
日本郵船氷川丸への菊花展示
10月31日~11月18日(予定)

発行 平成30年10月15日 発行所 氷川神社社務所
写真協力 宮野信昭 中村写真館 印刷所 株式会社 秀飯舎
さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>